営農経済部からのお知らせ　水稲のカメムシ対策にラクラク散布

そろそろカメムシが発生する時期になります。
水稲のカメムシ対策は万全ですか？

営農経済課
藤井　拓也

防除方法 その１

圃場周辺のイネ科雑草抑制がカメムシ防除に効果的です。水田周辺の雑草はカメムシの誘引源、本田内へ侵入するための中継点となるので出穂２週間前までには草刈や除草剤で発生の予防をして下さい。また、出穂期頃も除草を行えば水田周辺のイネ科雑草を長期間抑えることとなり、カメムシの水田への侵入をさらに低減することができます！

防除方法 その２

しかし、どうしてもカメムシが発生してしまった場合には、農薬の散布が必要になります。今回は、手間を最小限におさえた農薬をご紹介します！　それは・・・・

豆つぶ剤で、カメムシ防除がお手軽に！

スタークル「豆つぶ」

3,434円
（税込）

①「豆つぶ剤」って？
従来の1/4の軽さを実現でき、粒のサイズが3～8mmと従来の粒剤より大粒です。
手まき、ひしゃく散布、動力散布など多彩な散布方法で使えます。

②斑点米カメムシ類防除に優れた効果を発揮します！
有効成分が高い殺虫効果と吸汁阻害効果を示します。
つまり、カメムシによる被害を最小限にとどめます。

③とにかく軽量で疲れない！
10aに対する使用量は1袋(250g)なので、作業が楽に行えます。
ひしゃくを使えば、より遠くまで散布できますので、作業がラクラク!

④風によるドリフトが少ない！
大粒に作られているので、圃場の外や衣服に付着する事はありません。

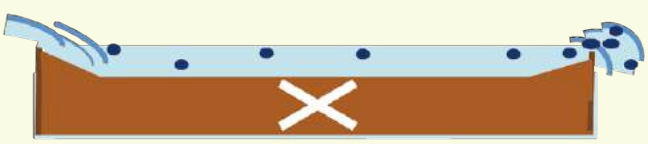
使用方法

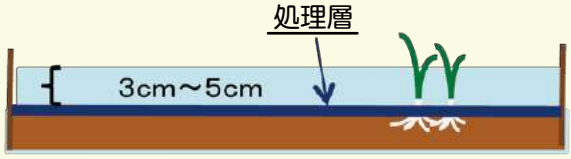
作物名	適用害虫名	使用量
稲	カメムシ類	250g／10a
	ウンカ類 ツマグロヨコバイ	250～ 500g/10a
使用時期		
収穫7日前まで		
本剤の使用回数		使用方法
3回以内		散布
ジノテフランを含む農薬の総使用回数		
4回以内（育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内）		

散布上の注意

掛け流しは薬剤が薄まって効果が低下します。散布後数日は水口、水尻は閉めておきましょう。

有効成分を均一に溶出させるため、水深3㎝～5㎝を維持しましょう。尚、散布後7日間は落水やかけ流しをしないで下さい。





詳しくは本店営農経済部へお問い合わせ下さい。

※価格は当時のものとなります。